

**「イメージング文化研究所」設立記念論文**  
**「イメージングに関する研究論文」の受賞者が決定**

2004年3月25日

コニカミノルタテクノロジーセンター株式会社（社長：小野寺薫）は、イメージング文化研究所（東京・新宿区）の設立記念に、「将来のイメージングのあり方」を基本テーマとして公募した「イメージングに関する研究論文」\*の優秀賞受賞者（賞金：50万円）を下記のとおり決定いたしました。

(\*「イメージングに関する研究論文」の募集要領の詳細については別紙をご参照ください。)

受賞者： 稲葉 稔（いなばみのる）様（栃木県小山市）  
論文名： 「変わらぬ人の心と遷り変わる世相」

アブストラクト：

芸術などの目標に向かって努力する人の基本的性質は今も昔も変わらないが、世相の方は変遷しているため、世の人々の関心は時代とともに変化している。また、近代社会は疎遠社会であり、人々はコミュニケーションを欲しているが、そのきっかけを掴めない。一方、今日の先進国は余暇社会に達している。このように変わらぬ人の性質と変遷する世相の観点からイメージングを論じる。

今回の公募では、「2010年頃の社会の姿を描き、人の行動の変化を予測し、イメージングのあり様を研究したもので、現在研究が進められているか、研究結果としてまとまっている論文」を対象としました。また、あまりイメージングの領域を限定せず、社会学、心理学などの視点も重視し、独自性や発展性のある研究論文を幅広く募集いたしました。稲葉氏の論文には、将来のイメージングの一つの楽しみ方が語られており、その内容は人間本来の感性に基づいた広がりを感じられる世界が見て取れる点を評価いたしました。

なお、募集に際し優秀賞を4件と設定しましたが、該当者は1名でした。

「イメージング文化研究所」は、コニカミノルタホールディングス㈱の共通機能会社であるコニカミノルタテクノロジーセンター㈱に属する研究機関で、来るべきユビキタスイメージング社会におけるライフスタイルやビジネススタイルの変化を調査、研究することを狙いとして設立いたしました。社会環境の変化が激しい昨今、従来の技術中心のアプローチでは、「イメージング」分野では将来予測が難しくなっています。そこで、新研究所では技術より先に人がどう動くか、生活文化や生き方、行動など『コトの研究』を中心に進めてまいります。

なお、次回の論文募集は今年の夏頃を予定しています。

(別紙)

2003年12月25日

## イメージングに関する研究論文募集要領

コニカミノルタテクノロジーセンター(株)  
イメージング文化研究所

本年10月1日にコニカミノルタテクノロジーセンター(株)に於いてイメージング文化研究所を設立したことを記念して、「将来のイメージングのあり方」を基本テーマとして研究論文を募集します。

### **【基本テーマの趣旨】**

来るべきコピキタスイメージング社会では、社会環境、生活環境、社会インフラの大きな変容に伴い、個人のライフスタイルが大きく変わり、企業ビジネスのあり方の変化も予測されます。

人間の感性に係わりを持つイメージングの世界を通じて、感動創造に繋げる研究がますます重要になって来ています。その研究を通じてコニカミノルタの事業への係わりを探索いたします。

### **【対象】**

#### (1)対象となる研究分野

2010年頃の社会の姿を描き、人の行動の変化を予測し、イメージングの有り様を研究した論文を募集します。

例)消費者(個人)のイメージングにおける将来の係わり方。

オフィスにおけるイメージングの持つ意味とその活用がビジネスに影響する予測。

#### (2)応募資格

日本の大学、国公立及び、民間公益研究所に在籍し、イメージングや社会科学などに関する研究者で、個人またはグループからの論文応募の資格とします。

### **【論文募集概要】**

(1)論文優秀賞：優秀賞4件とし、その賞金を1件50万円とします。(賞金は全て税込みとさせていただきます。)

#### (2)研究論文

現在、研究が進められているか若しくは研究結果としてまとまっている論文を提出していただき、選考の後、優秀賞を決定します。

#### (3)委託・協同研究

提出していただいた研究論文において、さらに将来性が見込めるものにつきましては、選考の結果、追加研究、委託研究、若しくは共同研究を打診させて頂くこともあります。

### **【選考委員会及び選考基準】**

#### (1)選考委員会

有識者により厳正に選考します。

#### (2)選考基準

発想の独自性：テーマの選定や論文内容に独自の視点を持っていること。

将来の発展性：論文の内容が将来の事業への発展性が見込めること。

### **【応募手続き】**

(1)アナウンス：弊社のホームページで掲載、郵送で大学、研究機関の事務局へ送付いたします。

各報道機関を通じてアナウンスをいたします。

(2)応募期間：2003年12月下旬～1月31日までに、e-mail 若しくは郵送で研究論文を添付の申請書と共にお送りください。

(3)選考：2003年2月以後

(4)注意事項：申請書、研究論文（論文に添付された資料を含む）は、原則返却しませんので、ご了承ください。

研究論文の内容については、公表または当社もしくは当社の指定する者が事業その他の目的のため利用する場合があります。また、投稿いただいた研究論文の著作権（著作権法第21条乃至第28条に規定する全ての権利を含みます）は当社に譲渡していただくと共に、著作者人格権を行使しないことを約束していただきます。（詳細は、添付の申請書をご確認下さい）

以上